

# 平成24年産 大麦栽培こよみ

あおば農業協同組合  
各地区農業技術者協議会

## 目標

● 整粒歩合…80%以上 ● 品質ランクA格付…100% ● 1等比率…100% ● 単収…350kg/10a以上

(品種:ファイバースノウ) 容積重 690g/ℓ以上 細麦率 2.2mm(篩)下に2.0%以下  
白度 43以上 硝子率 40%以下

※肥料・農薬名は農協の推奨品目です

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
生育段階	播種期		3葉	分けつ期	積雪期間			節間伸張期	止葉展開期	出穂・開花期	成熟期	
主な作業	苗立の安定化		茎数の確保		越冬前の生育確保	穂数確保		登熟向上				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 稲刈り後、額縁排水溝の設置</li> <li>◎ 心土破碎(排水溝と排水口を確実に連結)</li> <li>◎ 種子消毒(播種前日までに)</li> <li>◎ 堆肥・石灰質資材施用(目標pH6.0以上を目標とする)</li> <li>◎ 播種作業(基肥施用・耕起・播種)は1日で終える</li> <li>◎ 堆肥・石灰質資材施用(目標pH6.0以上を目標とする)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 排水溝の手直し(随時)</li> <li>◎ 年内追肥1回目(播種1ヶ月後)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 年内追肥 (葉色が淡くて茎数が少ないほ場のみ)</li> <li>◎ 消雪直後の追肥2回目 増設・排水溝の掘り下げ 排水溝の手直しおよび (雪がとけたら)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 止葉展開期の追肥3回目 (出穂12日前)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 雑草(カラスノエンドウ)の除去 (第1回防除の7日後)</li> <li>◎ 赤かび病2回目防除 (開花始(穂揃期))</li> <li>◎ 赤かび病1回目防除</li> </ul>		
	◎ 稲刈り後、額縁排水溝の設置		◎ 排水溝の手直し(随時)		◎ 消雪直後の追肥2回目 増設・排水溝の掘り下げ 排水溝の手直しおよび (雪がとけたら)			◎ 止葉展開期の追肥3回目 (出穂12日前)		◎ 雑草(カラスノエンドウ)の除去 (第1回防除の7日後) ◎ 赤かび病2回目防除 (開花始(穂揃期)) ◎ 赤かび病1回目防除		

排水対策+ドリル播で収量アップ!



● 全量基肥体系(ドリル播のみ) (10a当たり)

施用資材	肥料名	使用時期	使用量	N	P	K
基肥	LP大麦48号	は種時	45	13.5	4	4

※原則、追肥しない。

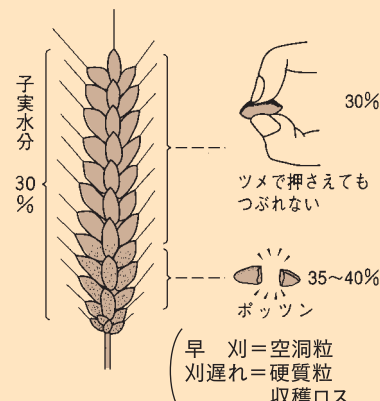
● 分施肥体系(表面散播) (10a当たり)

施用資材	肥料名	使用時期	使用量	N	P	K
基肥	BB特15号	耕起前	35	5.2	5.2	5.2
追肥1回目	硫安	11月上旬	20			
(※年内追肥)	(硫安)	(12月上旬)	(10)	(2.1)		
追肥2回目	硫安	消雪直後	15~20	3.2~4.2		
追肥3回目	硫安	止葉展開期	0~10	0~2.1		
計				14.7~16.7	5.2	5.2

※止葉展開期追肥は、葉色が濃い場合や茎数が多い場合は減肥する

畦畔・農道の草刈りの徹底

刈取適期の目安



## ~めざせ! 高品質・安定生産あおば麦!!~

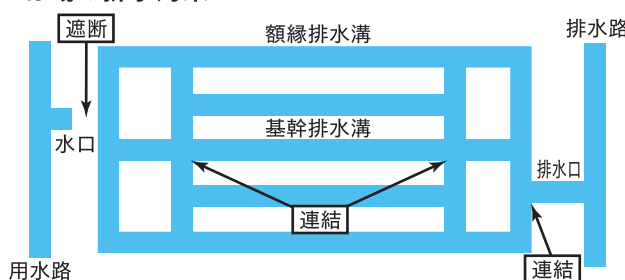
富山県産大麦は品質の高さから主に主食用途として利用されており、より多くの供給が求められています。

### 【大麦栽培のポイント】

#### ◆ポイント1 排水対策の徹底と土壌pHの矯正

- 額縁排水溝の設置、心土破碎、排水口の掘り下げ、排水溝との連結は稲刈後直ちに行う。
- 排水溝の手直しは随時行い、こまめにほ場の排水に努める。
- 大麦は土壌pHが低いと生育が抑制されるので、pH6~6.5となるよう、石灰質資材は必ず散布する。

ほ場の排水対策



土壌改良資材等施用の目安

資材名	施用量(10a当り)
苦土石灰	100~200kg
堆肥	牛糞・豚糞 1~2t
	発酵鶏糞 100~200kg

#### ◆ポイント2 適正な播種

- 耕起~播種作業は土が乾いた状態でいき、1日のうちに作業を終える。
- 年内に生育量を確保するため、遅くとも10月中旬までに播種を終える。
- 播種時期に応じた播種量で目標苗立ち本数を確実に確保する。

苗立ち数・播種量の目安

	9月25日~30日	10月上旬	10月中旬
目標苗立ち数 本/m <sup>2</sup>	140	150	200
ドリル播 kg/10a	6.0	6.5	8.5
表面散播 kg/10a	6.5	7.0	9.0

(土壌水分が高い場合は、表面散播に切り替える)

#### ◆ポイント3 種子消毒と赤かび病防除は確実に

##### ● 種子消毒法

薬剤消毒
・ベンレート水和剤20を乾燥種子重量の0.5%湿粉衣 (種子10kgに水200mlを加用して、50gの薬剤を均一に混和する。)

##### ● 赤かび病の防除

- ・赤かび粒の混入限度は0.0%
- ・2回の防除と畦畔・農道の草刈りを徹底する

防除時期	薬剤名	10a当り散布量
1回目 (穂揃期)	トップジンM粉剤DL	4kg
	トップジンM水和剤	1000倍液 150ℓ
2回目 (1回目の7日後)	ワークアップ粉剤DL	3kg
	シルバキュアフロアブル	2000倍液 150ℓ

※詳細は特報にてお知らせします。

#### ◆ポイント4 カントリー利用で高品質化

- 品質の高位平準化のため乾燥調製は婦中カントリーエレベータを利用しよう。

